

糖尿病の合併症を調べる検査

①心電図検査

心電図検査では不整脈、心筋梗塞、神経障害などがわかります。糖尿病の合併症に「心筋梗塞」や、自律神経障害による「起立性低血圧」もありますので、大切な検査です。



②24時間血圧測定

30分～1時間毎など、決められた時間毎に24時間連続で血圧を測定します。その際、行動も記録し、身体活動による血圧の変動を確認します。



③血圧脈波

血圧・心電図・心音図を同時に測定します。血圧は両腕・両足首の4ヶ所を測定します。この検査で、血管の硬さや血管が詰まっていないかがわかります。

④心臓・腹部・血管 超音波検査

心臓超音波では、心臓の全体の動きや弁の動きを確認します。腹部超音波では、肝臓・腎臓・膵臓・脾臓・胆嚢・大動脈の状態を確認します。

頸部超音波では、首の血管に動脈硬化が進んでいないか、確認します。



⑤神経伝導検査

合併症の一つである、「神経障害」の程度を調べる検査です。手足に電極をつけて、微量の電気を流して神経を刺激し、神経の中を興奮が伝わる速さを測定します。